

北菓楼札幌本館（旧北海道庁立図書館）

【景観上の特徴】

北菓楼札幌本館は、大正15年（1926年）に建てられた「行啓記念北海道庁立図書館」が、平成28年に菓子店「北菓楼（きたかろう）」の店舗・カフェとして生まれ変わったものです。

建物全体は大正時代の建物に多く見られるセセッション様式でデザインされており、通りに面する南側・西側の手作りのタイルによる外壁やジャイアントオーダー、旧玄関ホールなどは建設当初の姿のまま残されたものです。これらの特徴的な外観が、北一条通や札幌を代表する「北海道庁赤れんが庁舎」を臨む通りに、歴史を尊重した景観を生み出しています。

保存された外壁などと一体的に建て替えられた建物は、新たな市民の"サロン"となるよう創られ、2階カフェには約6000冊の本が並ぶ本棚が設置されるなど、かつて図書館であったことを継承しつつも、現在はコンサートなどのイベントが開催されるなど、札幌市内外から人々が集まる魅力ある交流の場となっています。

また、入口前の樹齢約150年のハリギリの大木も、外壁などと同様に建て替え時に保存された樹木であり、長きにわたり札幌の街や人を見守っています。

この建物は、札幌が開拓期の都市の骨格づくりを終え、自治の時代に入り北海道の中心都市へ成長していく中で、開拓期より都心の主軸であった北一条通沿いに整備された公共機関のひとつです。同じく北一条通沿いに復元された中央警察署とともに、開拓期の歴史を伝える都心部のまちな



みとして風格を感じさせる魅力的な景観をつくり出しており、札幌市景観計画に示す「札幌固有の景観特性と街の成り立ちを尊重し、秩序と調和のある景観づくり」を表しています。

加えて、札幌の発展に伴いその役割を変えてきたこの建物は、長い年月を経て、古いものと新しいものが融合し、札幌の新しい交流の場所として活用されています。これは、時代を経て成熟していく質の高い景観を形成するものであり、札幌市景観計画に示す「地域の個性が際立ち、多彩な輝きを放つ景観づくり」を表しています。

登録年月日	令和2年（2020年）9月25日
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目1-2
連絡・問い合わせ先	連絡先名：北菓楼札幌本館 TEL：0800-500-0318
URL・資料	https://www.kitakaro.com/ext/tenpo/sapporohonkan.html
備考	

令和2年（2020年）9月時点

北菓楼札幌本館(旧北海道庁立図書館)

位置図

